



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社デファクトスタンダード 上場取引所 東
 コード番号 3545 URL http://www.defactostandard.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾嶋 崇遠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸尾 隆 TEL 03 (4405) 8177
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	8,646	△2.3	△189	—	△173	—	△122	—
2018年9月期第3四半期	8,846	10.3	315	11.8	341	20.1	233	20.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	△13.40	—
2018年9月期第3四半期	25.88	25.36

(注) 1. 当社は2018年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 2019年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2019年9月期第3四半期	4,142		3,451		83.3	
2018年9月期	4,348		3,619		83.2	

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 3,451百万円 2018年9月期 3,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2018年9月期の1株当たり配当金の内訳は、東京証券取引所市場第一部へ市場変更されたことに対する記念配当5円であります。

3. 2019年9月期の配当予想額は、未定であります。

3. 2019年9月期の業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,141	5.0	150	△64.6	173	△59.6	118	△59.7	13.00

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	9,140,000株	2018年9月期	9,140,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	15,016株	2018年9月期	15,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	9,124,984株	2018年9月期3Q	9,039,143株

（注）当社は2018年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、発行済株式数（普通株式）は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費増税を控えていることによる消費者マインドの慎重化が下押し要因として働いているものの、良好な雇用・所得環境に下支えされ、個人消費は緩やかな拡大が持続しております。

当社が属するリユース業界では、個人間取引でリユース品の売買を行う「フリマアプリ」の浸透などを背景に、市場全体としては広がりが見られます。一方でフリマアプリやシェアリングの流行による中古市場活況の中、ユーザーの選択肢が広がることで、サービスの選別がより厳しくなっていくことが見込まれます。

このような環境の下、当社はリユース・ブランド及びファッション商品等(バッグ、洋服、時計、アクセサリ、財布、その他)に特化した買取・販売を、「ネット専業リユース事業」及び「その他事業」として展開してまいりました。

買取面では、プレゼントキャンペーンやWEBページのSEO対策、リピーター施策等による訴求を行い、当第3四半期累計期間における買取申し込み件数は332,578件(前年同期比5.9%減)となったものの、買取金額は5,736,245千円(同20.3%増)となりました。

販売面では、商品単価の上昇等により売上総利益率は43.0%(前年同期比6.9ポイント減)となりました。今期のテーマである自社販路強化の取り組みといたしましては、ブランディア経済圏の機能拡充を目的として、2019年5月に、ブランド品のサブスクリプション型シェアリングサービス「ブランディアレンタル」を開始し、当社が保有する55万点に及ぶリユースブランド品の中から、月額4,980円でレンタルニーズの高い人気ブランドのバッグ等を提供しております。「売る」「買う」という選択肢に「借りる」を加えることで、より一層ユーザビリティを向上させてまいります。

また、直近、自社販路であるブランディアマーケットではWEB上での閲覧ユーザーが増加傾向にあります。そのため、WEBページに訪問したユーザーが、アプリダウンロードの手順を踏むことなく、会員登録、ログイン、お気に入り追加、購入まで一貫してWEB上で行えるように改善いたしました。

一方で、今年のゴールデンウィークは10連休となり、期間中は買取申し込みへの対応を優先した結果、販売出品への対応が遅れ、想定より第3四半期会計期間末の未出品在庫は増加いたしました。第4四半期会計期間はこれら未出品在庫の出品を強化することで、売上高の増加を目指してまいります。

費用面では、引き続き出品業務の在宅ワーク化を進め、業務人件費を削減する一方で、広告宣伝費の費用対効果が改善した結果、当第3四半期累計期間における広告宣伝費は1,216,753千円(前年同期比9.3%減)となりました。

当社は、中長期的な利益成長のために、自社販路の売上高比率を高めることが必要と考え、期初から戦略的投資を行っておりましたが、第1四半期の暖冬による冬物商材の販売不振及び自社販路の集客の遅れ等により、売上高の伸びに当初の見通しよりも時間を要したことを受け、売上高は8,646,970千円(前年同期比2.3%減)、営業損失は189,803千円(前年同期は営業利益315,041千円)、経常損失は173,532千円(前年同期は経常利益341,139千円)、四半期純損失は122,269千円(前年同期は四半期純利益233,946千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ネット専業リユース事業

ネット専業リユース事業については、引き続き広告宣伝費の投下により買取商品が増加したものの、自社販路の集客の遅れ等による販売の減少、及び売上総利益率の低下によるセグメント利益の減少の結果、外部顧客に対する当第3四半期累計期間の売上高は8,155,913千円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益(売上総利益)は3,618,393千円(同16.2%減)となりました。

② その他事業

その他事業については、高価格帯のブランド品や貴金属の卸販売等が増加した結果、外部顧客に対する当第3四半期累計期間の売上高は491,057千円(同2.5%減)、セグメント利益(売上総利益)は97,239千円(同2.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて234,319千円減少し、3,675,885千円(前事業年度末比6.0%減)となりました。これは主に、現金及び預金が1,185,866千円減少したものの、商品が804,906千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて27,972千円増加し、466,173千円(同6.4%増)となりました。これは主に、繰延税金資産が52,975千円増加したものの、有形及び無形固定資産の減価償却により24,839千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて39,066千円減少し、557,096千円(同6.6%減)となりました。これは主に、未払法人税等が61,512千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて613千円増加し、133,034千円(同0.5%増)となりました。これは資産除去債務が613千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて167,894千円減少し、3,451,927千円(同4.6%減)となりました。これは利益剰余金が167,894千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月24日に公表いたしました通期業績予想は、変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,964,254	778,387
売掛金	276,880	255,429
商品	1,534,340	2,339,247
貯蔵品	4,308	3,622
その他	130,420	299,199
流動資産合計	3,910,204	3,675,885
固定資産		
有形固定資産	328,840	306,942
無形固定資産	16,383	13,440
投資その他の資産	92,977	145,789
固定資産合計	438,200	466,173
資産合計	4,348,405	4,142,058
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,875	57,690
未払法人税等	61,512	—
その他	480,774	499,405
流動負債合計	596,162	557,096
固定負債		
資産除去債務	132,421	133,034
固定負債合計	132,421	133,034
負債合計	728,583	690,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209,422	1,209,422
資本剰余金	1,119,672	1,119,672
利益剰余金	1,300,882	1,132,987
自己株式	△10,896	△10,896
株主資本合計	3,619,080	3,451,186
新株予約権	741	741
純資産合計	3,619,822	3,451,927
負債純資産合計	4,348,405	4,142,058

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,846,473	8,646,970
売上原価	4,431,881	4,931,338
売上総利益	4,414,591	3,715,632
販売費及び一般管理費		
雑給	688,207	600,749
広告宣伝費	1,341,790	1,216,753
その他	2,069,552	2,087,933
販売費及び一般管理費合計	4,099,549	3,905,435
営業利益又は営業損失(△)	315,041	△189,803
営業外収益		
受取利息	11	8
助成金収入	28,748	9,177
その他	3,738	9,097
営業外収益合計	32,497	18,282
営業外費用		
為替差損	2,398	2,011
支払手数料	4,001	—
営業外費用合計	6,399	2,011
経常利益又は経常損失(△)	341,139	△173,532
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	341,139	△173,532
法人税、住民税及び事業税	90,089	1,711
法人税等調整額	17,103	△52,975
法人税等合計	107,193	△51,263
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,946	△122,269

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。なお、前第3四半期会計期間に係る貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の表示となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,342,787	503,685	8,846,473	—	8,846,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,342,787	503,685	8,846,473	—	8,846,473
セグメント利益	4,320,080	94,510	4,414,591	△4,099,549	315,041

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,155,913	491,057	8,646,970	—	8,646,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,155,913	491,057	8,646,970	—	8,646,970
セグメント利益	3,618,393	97,239	3,715,632	△3,905,435	△189,803

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整しております。